

2025 年度 すくわくプログラム活動記録

色と出会い、色の変化を楽しむ

～色彩の不思議を探究するアート遊び～

活動のねらい

園では日頃からアート遊びを取り入れ、子どもたち一人ひとりの自由な表現を大切にしています。お絵描きや製作活動を楽しむ中で、色を使って表現する姿が多く見られていることから、「色の混ざりや変化」に着目した探究活動を行いました。

色彩の変化を実際に見たり試したりする中で、素材による発色の違いや表現の広がり気づき、子どもたちの「やってみたい」「どうなるの？」という好奇心や探究心を育むことを目的としました。

実施期間：令和 7 年 9 月～令和 8 年 3 月（毎月 1 回）

7 か月間の活動の流れ

1～2 か月目

「色が溶け合ったらどうなるの？」

3 原色の色をつけた氷を使い、溶けていく過程や色が混ざり合う様子を観察しました。色の変化する瞬間を楽しみながら、予想したり試したりする姿が見られました。



3～4 か月目

「素材によって色の見え方は変わるの？」

絵具、カラーフィルム、画用紙など様々な素材に触れ、室内や戸外で色の見え方の違いを体験しました。
光の当たり方や素材の違いによる変化に気づき、観察する力を育みました。

5～6 か月目

「色が重なるとどんな色になる？」

水性マーカーや絵具を使い、色を重ねたりにじませたりしながら、新しい色の変化を探りました。
「こうしたらどうなるかな？」と自分なりに工夫する姿が増えていきました。

7 か月目

「音を感じて色で表現しよう」

民族音楽を聴きながら、音のリズムや流れを感じ取り、色や線を使って自由に表現しました。
色だけでなく、音や感覚を表現につなげる楽しさを味わいました。



活動の環境づくり

幼児クラスは人数が少なく、普段は2歳児と一緒に過ごしています。

今回の活動では幼児クラスだけの空間を作り、友だちや保育者と少人数で落ち着いて表現活動に集中できる環境を整えました。

絵具、氷、カラーフィルム、画用紙、コーヒーフィルターなど、普段使うものから初めて触れる素材まで様々な材料を準備し、子どもたちが自由に試しながら色の変化を楽しめるようにしました。

子どもたちの姿

子どもたちは色の混ざり合いや変化に強い興味を示し、活動中は言葉が少なくなるほど集中して取り組む姿が見られました。

色が変わる瞬間をじっと見つめたり、色の重ね方を変えて試したりするなど、自分で考えながら工夫する姿も多くありました。

また、製作活動やぬりえが好きな子どもが多かったこともあり、初めて触れる素材や技法にも戸惑うことなく楽しんで参加することができました。

絵具で手や服が汚れることを心配していましたが、初回以降は「今日はアートの日だよ」と伝ええると、楽しみに登園する姿も見られ、活動への期待や意欲につながっていきました。

保育者の学び

活動を始める前は、どのような内容に発展させていくか悩むこともありましたが、様々なアイデアを参考にしながら、子どもたちの姿に合わせて活動を展開していきました。

今回の探究活動を通して、身近なものや普段あまり使わない素材にも、子どもたちの発見や表現を広げる可能性があることを感じました。

今後の製作活動でも、子どもたちの「試してみたい」「発見したい」という気持ちを大切にしながら、豊かな表現につながる環境づくりを続けていきたいと思います。

「色って面白い！」
小さな発見から広がる、子どもたちの探究の時間でした。